

保育者論	1年	後期	講義2単位	担当教員名	尾 崎 律 子
	卒必	幼必 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 保育者の存在意義と専門性、その役割・使命について理解する。 ② 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者の役割と倫理について理解する。 ・ 保育士国家資格・幼稚園教諭免許状の制度と根拠法を理解する。 ・ 保育士の専門性について理解する。 ・ 保育者の協働について理解する。 					
授業の概要 保育の現場は、子どもの保育を基本としながらも、保護者への対応や支援、小学校教育や地域とのつながり、特別なニーズをもつ子どもへのきめ細やかな配慮や援助など、保育者に求められることは多岐にわたる。子どもや子育て環境の変化に伴い保育者に求められる役割がどのように変わり、どのような専門性が求められているのかを理解し、保育者としてのあるべき姿を考え深めていく。					
授業計画					
コマ(回)	項 目	内 容			
1	保育者になるということ	・オリエンテーション	・保育者の意義	・保護者の背景	
2	保育の本質	・保育とは何か	・保育者の子ども観	・保育観	
3	豊かな環境をつくる とは	・環境と保育	・子どもの生活を支える環境		
4		・環境の再構成と活動の展開・発展	・保育の展開と評価		
5	保育実践と保育者	・幼稚園における子どものかかわり		・保育所における子どものかかわり	
6		・近隣の幼稚園との交流（交流計画・実践・評価）			
7	保育者の協働	・保護者との協働について	・保護者支援について		
		・地域との連携について			
8	小学校の先生との連携	・幼稚園・保育所から小学校への段差とは	・子ども達の交流活動		
		・保育者・教師間の連携			
9	学び、成長する保育者	・保育者になるための学び	・専門性の向上		
		・学び続ける保育者			
10	保育者のキャリア形成	・幼稚園・保育所における保育者	・児童福祉施設における保育者		
11	法令による責務①	・法令と保育者	・教育・保育の基本に関する法令	・免許状・国家資格の法令	
12	法令による責務②	・保健安全に関する法令		・園内事故と保育者の法令的責務	
13	歴史から学ぶ保育者のあり方	・保育者の誕生とその歴史的背景について			
14	子育て環境と保育者の役割の変化①	・少子化と保育	・個別のニーズと保育		
		・保護者支援について	・多様なニーズに対応する保育者への期待		
15	子育て環境と保育者の役割の変化②	・子どもを取り巻く環境の変化と保育者に期待される役割			
定期試験	なし				
テキスト	榎田二三子・大沼良子・増田時枝『シードブック改訂 保育者論』建帛社 2013.				
参考図書	汐見稔幸・大豆生田啓友『最新保育講座2 保育者論』ミネルヴァ書房 2011.				
教員の評価方法	授業態度（10%）、発表（20%）、課題レポート（70%）の総合で評価				
準備学習等履修上の留意点	授業内容の予習、授業後の課題レポート提出				